

経営比較分析表／団体全体（令和3年度決算）

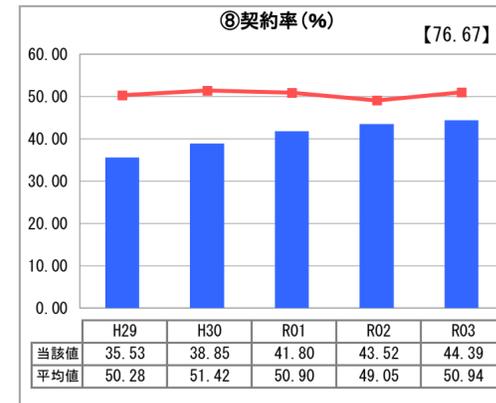
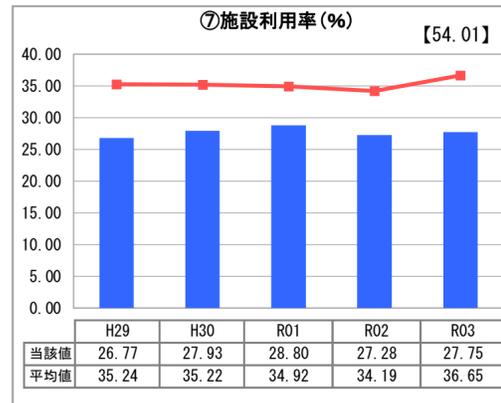
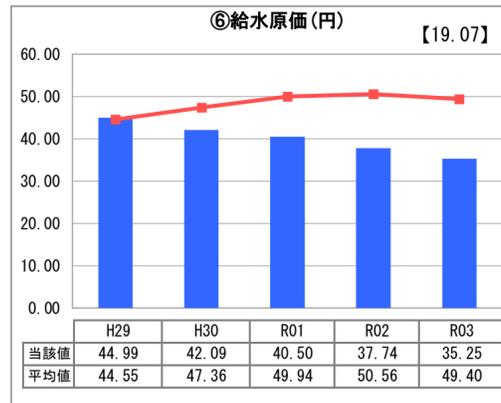
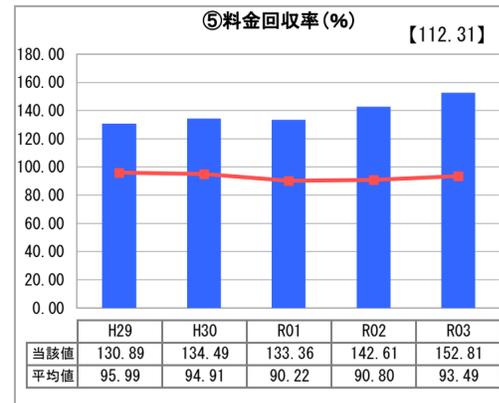
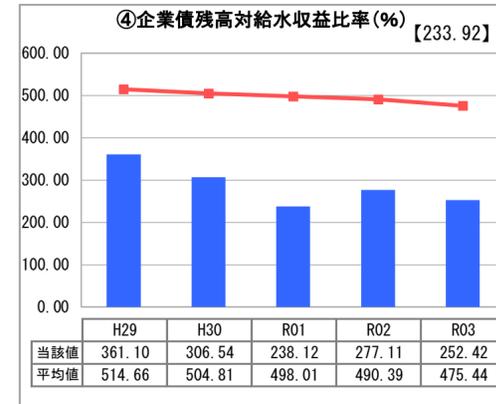
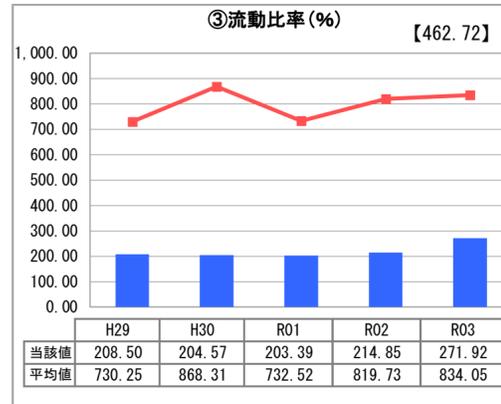
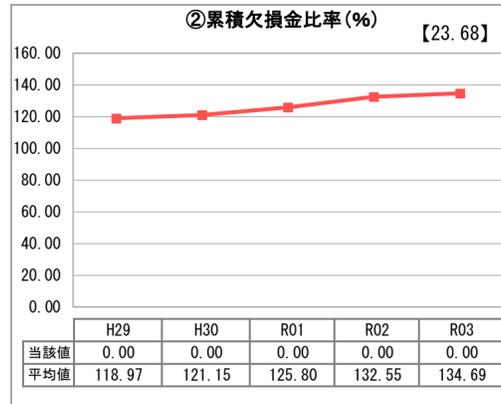
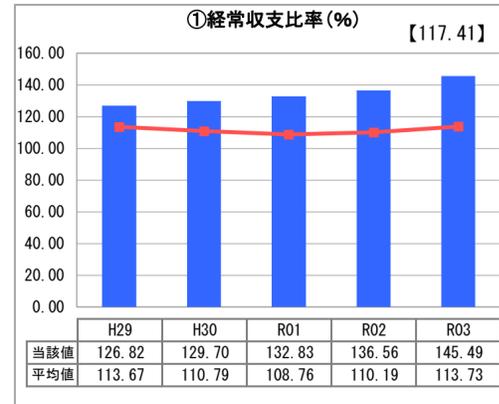
岐阜県

【事業概要】

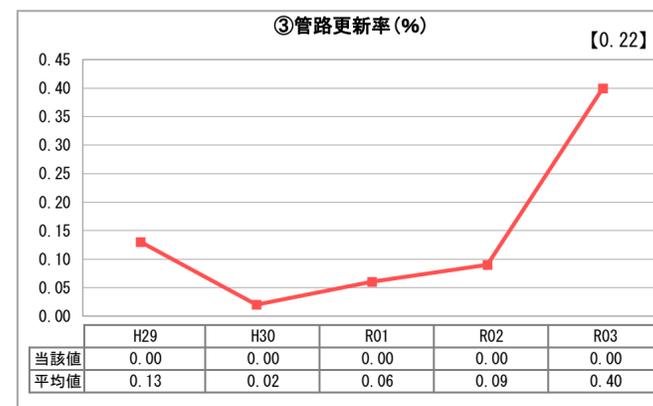
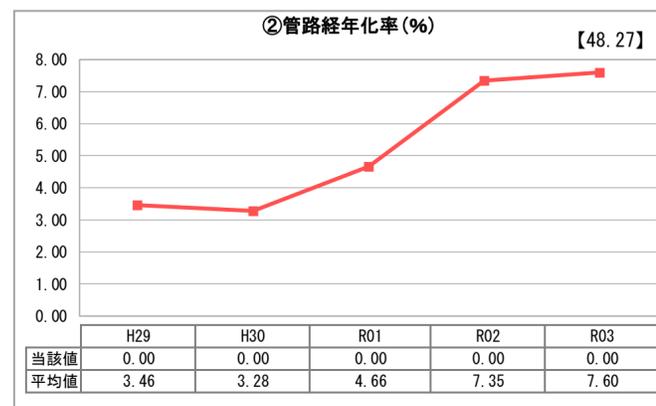
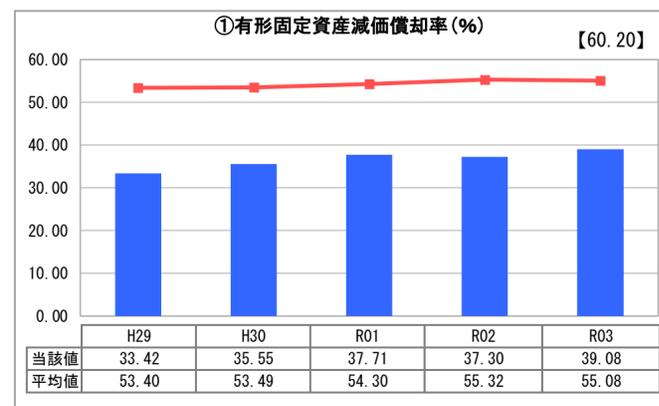
| | | | | | |
|-----------|-------------|-------------------------------|-------------------------|--------|--------------------------|
| 業務名 | 業種名 | 現在配水能力(合計)(m ³ /日) | 類似団体区分 | 施設数 | 1日平均配水量(m ³) |
| 法適用 | 工業用水道事業 | 9,760 | 極小規模 | 1 | 2,708 |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 給水先事業所数 | 契約水量(m ³ /日) | 管理者の情報 | |
| - | 62.4 | 12 | 4,332 | 非設置 | |

| |
|----------------|
| グラフ凡例 |
| ■ 当該団体値(当該値) |
| — 類似団体平均値(平均値) |
| 【】 令和3年度全国平均 |

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- 経常収支比率
100%を超えており、事業開始以降、黒字を確保しています。今後50年間の施設更新には多額な費用が見込まれるため、将来世代に過度な負担を強いることがないように、今後も施設整備に必要な資金(内部留保金)を確保していきます。
- 累積欠損金比率
累積欠損は発生していません。
- 流動比率
100%を超えており、短期的な債務に対する支払能力は問題ありません。
- 企業債残高対給水収益比率
年々給水収益が増加しており、企業債の償還も進んでいるため、平均値と比較して5割程度となっています。
- 料金回収率
100%を超えており、給水に係る費用が給水収益で賄えています。
- 給水原価
平均値と比較して低い状況となっています。引き続き、維持管理費の削減等に努めていきます。
- 施設利用率
契約水量、実給水量ともに増加したため、施設利用率もわずかに増加しました。平均値と比較するとまだ低い状況となっています。
- 契約率
年々上がっていますが、平均値と比較するとまだ低い状況となっています。

2. 老朽化の状況について

平成10年の供給開始から24年目であることから、管路は老朽化していません。

全体総括

可茂工業用水道事業は、供給開始から24年目であることから、当面は施設の老朽化に伴う大規模更新の予定がありません。また年々契約水量も増加しており、黒字経営を維持していることから、引き続き安定的な経営ができる見通しとなっています。今後も安定的な事業継続を図るため「岐阜県可茂工業用水道事業経営戦略(令和2年3月公表)」をもとに、以下の取組みを推進していきます。

- ・ 契約水量の拡大
- ・ 経営基盤の強化(施設整備に必要な資金確保)
- ・ 水需要に応じた施設の段階的整備